

3月26日

テーマ：「愛し合うこと」

聖書箇所：ヨハネの手紙第一 4章7節～21節

◆今日のみことば

愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた互いに愛し合うべきです。ヨハネの手紙第一 4章11節

◆メッセージ

イエスさまは私たちに、神さまと人を愛しなさい、と言いました。それはできればやってください、ということではなく、イエスさまからの「命令」(4章21節)である、と聖書に書かれています。

「愛する」とは、「大切にする」という意味です。あなたは人を大切にしていますか？私たちは自分に優しくしてくれる人や、いっしょにいて楽しい人のことは、大切に思うでしょう。しかし・・・



自分にいやなことをする人のことは、なかなか大切に思うことができません。「あんなやつ、いなければいいのに・・・」口には出さなかったとしても、私たちの心の中には、そういう思いが自然に起ってしまうことがあります。

聖書には、人間は「愛」を知らなかった、と書かれています。しかしイエスさまによって、私たちは本当の「愛」を知ることができました(4章9節)。イエスさまは、神さまと人を愛し

つづけました。人から見捨てられていたような、病気のひと、貧しいひと、ともだちがないひとのところに行き、ともだちになりました。イエスさまはどんな人も大切にしました。イエスさまは愛のあふれる方でした。しかし、人々の悪い思いによって、十字架にかけられてしまいました。

イエスさまは十字架の上で、息をひきとる前に、自分を殺そうとしている人たちのために、お祈りをしました。「神さま、彼らをゆるしてください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」イエスさまは、自分を殺そうとしている人たちでさえも愛し、彼らの罪のゆるしのために祈りました。



私たちもイエスさまのように、人を愛することができるのでしょうか？そんなことできない、と思う人もいるかもしれません。しかし、神さまは愛であると信じる人の心の中には神さまがおられます(4章16節)、と書かれています。神さまの力によって、私たちが愛することができるようになる・・・聖書はそのように教えています。

◆お祈り

「私たちもイエスさまのように、人を愛することができますように。」

(久留米聖書教会伝道師 下田陽介)